

特許紹介

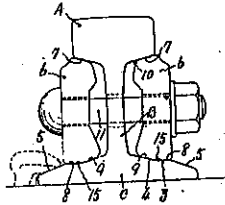
第28巻第12號 昭和17年12月

軌條の接目装置

(特許第146228號 發明者) (特許権者) 増田實藏

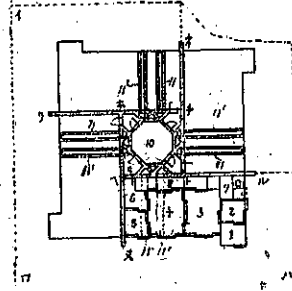
此の發明は、平底軌條の底部 (C) の上面に之と頭部 (A) の兩側面から下した鉛直線との交點を略起點とし、其の外方に適當の幅を有する水平部 (3) を形成する。水平部 (3) の内外兩側には傾斜面 (4) (5) を設け、繼目鉄 (6) の下面に設けた水平部 (8) 及斜面部 (9) を前記底部の水平部 (3) 及其の内側の傾斜面 (4) に夫々適合させると共に、繼目鉄 (6) の上部斜面部 (7) と軌條頭部の下部に於ける傾斜面 (10) とを係合して適當數の締杆により軌條の兩側に繼目鉄 (6) を壓接せしめたものである。鉄上の構成により、車輻の振動衝撃を減少させようとするものである (圖-1)。

圖-1.



し、必要に應じ直ちに防空共同室に逃避し各扉を閉鎖することにより其の目的を達する事ができる。

圖-2.



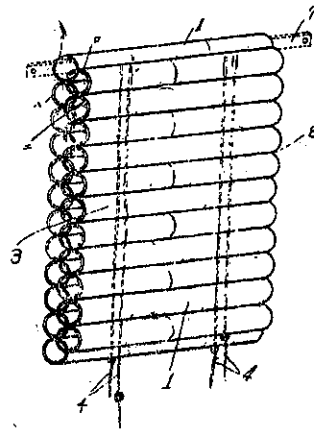
防空竹扉

(特許第15267號 發明者) (特許権者) 阪生亮一

金屬を使用せずに強靱硬質で衝撃に耐へるやう考案したものである。適宜數の丸竹 (1) に夫々縦溝 (2) を穿設し 縦溝を夫々互に嵌合して千鳥狀に連結して隙間のない板體を形成させる。尚之には鹽化マグネシウム液又は其の他の防火液を浸透させ、筒中の夫々に砂粘土を充填せしめたものである (圖-3)。

非常時に於て横杆 (7) を挿入して懸垂し、又は釘打して適宜窓入口等に附設するのである。

圖-3.



鐵筋コンクリート船

(特許第162600號 發明者) (特許権者) 武智正次郎

鐵筋コンクリート船をして製造容易で完全なる水密性を有し且つ頑強で耐久性に富むやう考案したものである。船體の外殻の厚さの中性軸線に沿つて薄鐵板を挿入し、其の再側を鐵筋コンクリート壁を以て覆ふのである。

防空共同室施設家屋

(特許第152628號 發明者) (特許権者) 山中 綱

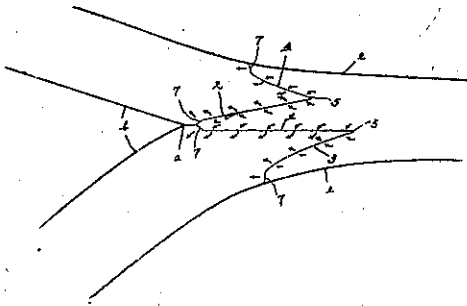
集國家屋の居住者に對し、空襲時容易に避難させ且つ防火防毒も爲し得るやう施設せしめた家屋である (圖-2 参照)。正方形の敷地 (イ) (ハ) の中央部に正方形の防空共同室 (ホ) (ト) を設ける。其の周壁 (ホヘ) (ヘト) (トチ) (チホ) を互違ひに延長して4區劃 (リ) (チ) (オ) (カ) (ホ) (ヌ) (ヌヘ) (ル) 及 (ル) (ト) (オ) を構成する。各區劃内に玄関 (1)、玄関間 (2)、客間 (3)、居間 (4) 等を有する1單位の住宅を配置する。以上の如くしたから、中央防空共同室は四周の各單位家屋に住居する者に對

河床調整及河水自然分配装置

(特許第 152835 號 發明者)
(特許権者) 山本伊三郎

用排水を目的の方向に適宜分配流送し河床の隆起した地域を洗掘して高低を調整し、平時に於ては要水を多量に貯へ、洪水の際は上流下流の水位を低下して排水力を増すやう設計したものである。分岐點(a)を中心として長く對岸からは短く共に上流に向つて斜に兩先端(5)を接続して堰堤(1)(2)(3)(4)を築造する。兩側下流の末端には砂礫放流兼河水調節装置(7)を設けたものである(圖-4)。

圖-4.

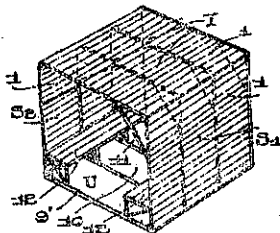


無釘防空壕

(特許第 152772 號 發明者 矢田 茂)
(特許権者) 清水組

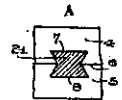
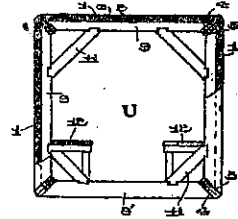
釘其他の鐵材を使用する事なく組立解體共に容易で而かも土壓に耐へるやう設計したものである。圖-5に就て説明すると、單位框體(U)は天井壁(T)及び兩側壁(S₁)(S₂)から成り之等の各壁を構成する平板(1)は寸法一定で一側面に突條(2)他側面に凹溝(3)を形成し、之等を隣接係合して壁體を構成する。各壁(T)(S₁)及び(S₂)の内側面には夫々圖示の如く4本又は適當數の骨柱(9)を添着する。而して天井壁(T)と兩側壁(S₁)及び(S₂)と相接する角部には互に面接する1對の

圖-5.



連繫板(4)及び(5)を45°に内方に突出させ、連繫板(4)及び(5)の接合面(6)には諸所に互に一致する鳩尾溝(7)及び(8)を穿ち(圖-6)。

圖-6.



72

之に楔片(21)を打込んで兩板(4)及び(5)を結合させる。而して骨柱(9)と連繫板(4)又は(5)とは鳩尾係合により結合する。框體(U)の下底(10)は床板を張らないが、骨柱(9')を兩側壁(S₁)及び(S₂)間に連繫し、之等の相隣る骨柱(9)及び(9')相互間に斜材(11)を鳩尾係合に

より連繫させて框體の形狀を確保するのである。尙圖中(12)はベンチを示す。

以上の如く、框體隅角に特殊の設計を施し、隣接壁面に對し45°の角度を以て内方に傾斜する1對の連繫板(4)及び(5)を互に相面接させ其の諸所に双鳩尾孔(7)を形成したが故に、最も歪形し易い角部の崩形を防止し得るものと考へられる。

硬水軟化劑の製造方法

(特許第 152905 號 發明者)
(特許権者) 穴山春夫

ボーキサイト粉末に苛性ソーダ溶液を加へ加熱して沈澱物を濾別した後濾液に少量の硫酸礬土及び硫酸を加へ更に珪酸ソーダ溶液を添加して攪拌し乳白色の均質なゼオライトのゲルを生成させる方法である。本方法により製造したゼオライトは其の含有するナトリウムによりアルカリ土類金屬との置換作用が鋭敏で品質堅牢であると云ふ。

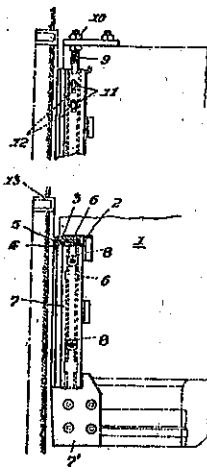
(附) 登録實用新案 水門兩側面水止装置

(登録第 301797 號 公布無期昭和 16 年第 2482 號)
(考案者 (實用新案権者) 林 正清)

圖-7. 門扉本體(1)の側縁部に支縁(2)を縦設し其の外側に段肩(5)を有する弾力性物質製の止片(3)を接着する。止片(3)上に抑片(7)を支片(2)と段肩(5)との間に嵌合するやう接装し、抑片(7)下端部を門扉本體(1)に固着し、上端部の締杆(9)を門扉本體(1)

上端部に挿通して締上げるやうにしたもの。

圖-7.

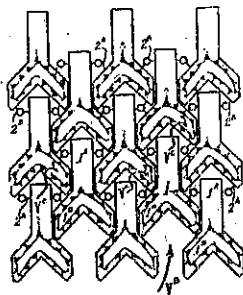


コンクリート支塊護岸工

(登録第 301209 號 公告審判昭和 16 年第 18198 號)
(発案者 (費用研案担当者) 北村多賀太郎)

圖-8。逆Y字形のブロックを連結鐵環に依り相互に連結したもので、流勢を緩和し且つ勾配に順應する利點がある。

圖-8.



土留用井筒間介入杭

(登録第 302854 號 公告審判昭和 16 年第 460 號)
(発案者 (費用研案担当者) 加藤素一)

圖-9, 10。井筒 (a) 間に介入せしめるもので、井筒の埋設を容易ならしめたもの。

圖-9. 使用状態を示す側面圖

圖-10. 平面圖

